

# フィギュアスケート グランプリシリーズ第3戦 中国杯

# SP 4位

自己ベスト87・19点

右腸腰筋の痛みで第1戦のロシア杯を欠場した田中がほぼミスのない演技を見せ、SPで自己ベストを6・70点更新する87・19点をマークした。世界選手権で2度優勝している3位のフェルナンデスと3・38点差の4位につけ「けが明けとしてはいい滑り出しができた」とうなずいた。

午前中の公式練習でほとんど成功がなかった4回転サルコウを冒頭で決めて勢いに乗った。演技後半のトリプルアクセル(3回転半ジャンプ)では出来栄で1・86点が付く高い評価を得た。

フリーではサルコウとトリプルプの2種類、計3度の4回転ジャンプを入れた構成で臨む。3位だった昨季のNHK杯に続くGPシリーズ2度目の表彰台の好機に「強く攻めようと思う」と力を込めた。

# 総合7位

田中はフリーの後半のスケーティングでまさかの転倒。予定していた3回転ループを跳べず、7位に沈んだ。目標としていた合計250点にも届かず「自分でも(原因が)把握できていない」と戸惑いを見せた。

右腸腰筋のけがが癒えたが「体力だけはどうしても心配だった」と練習を十分に積めなかった不安が出た。平昌冬季五輪代表最終選考会の全日本選手権に向け、体力面の強化を課題に挙げ「クオリティーの高い演技ができるようにしたい。そうすれば道は開けてくると思う」と気合を入れ直した。



男子で7位になった田中刑事の演技(共同)

## 田中 刑事さん

倉敷芸術科学大学

(岡山理科大学附属高等学校卒業)

2017.11.4~5 山陽新聞

